

「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 30 年 6 月 29 日

仕 事 の 内 容	手話通訳者等派遣事業				
担当部署・課長名	障害福祉	課	障害福祉	係	課長名 小川 則之

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 障害者福祉の推進

(総合計画書 55 ページ)

予算名	款 3	民生費	項 1	社会福祉	目 4	障害者福祉費	事業 6	地域生活支援事業	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚・言語障害者 ・聴覚障害者等で組織する団体 					→ 市内の聴覚・言語障害者数			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)			
<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚・言語障害者の意思疎通が容易になる。 					→ 年間の総利用回数/市内の聴覚・言語障害者数				
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)				
<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚・言語障害者の意思疎通を円滑にするために、手話通訳者又は要約筆記者を派遣する。 					→ 年間の総利用回数				

2 指標の推移			単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
	対象指標	①の数値	人	274	280	296	/	/
	成果指標	②の数値	%	52.9	53.9	58.1	/	/
	目 標	②の目標値		/	/		/	/
			目標値設定の考え方					
活動指標	③の数値		145	151	172	/	/	

3 経費	事業費(実績)		円	2,353,078	2,346,672	2,723,918	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源		円	1,117,078	1,180,672		1,480,918
		特定財源		円	1,236,000	1,166,000		1,243,000
			(うち受益者負担)		円	0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.20	0.2		0.2
		所要人数(再任用)		人				
職員人件費(再任用以外)		円	1,646,600	1,653,400	1,650,600			
		職員人件費(再任用)		円				
事業費+人件費			円	3,999,678	4,000,072	4,374,518		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・平成5年から手話通訳者派遣を社会福祉協議会に委託して実施している。平成18年10月から障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業として実施するようになった。 	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度から要約筆記者派遣事業を実施し、平成20年度から聴覚障害者団体からの要望もあり、手話通訳・要約筆記者ともに、東京都手話通訳者等派遣センターへ全面委託するようになった。 		

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成28年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度から委託を社会福祉協議会から東京都手話通訳者等派遣センターに変更したが、大きな混乱はなかった。年に1~2回の利用者、通訳者との懇談会を開催して、円滑な事業運営に心がけている。 	

仕 事 の 内 容	手話通訳者等派遣事業					
担当部署・課長名	障害福祉	課	障害福祉	係	課長名	小川 則之

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取組みは無い	取組手法 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。			
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。		
	利用者、通訳者との懇談会を通して、事業の利用方法等について意思疎通を図った。		
(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。			
障害者差別解消法に基づいた合理的配慮の観点から、市主催事業における手話通訳等の設置について各課予算措置をしていたところであるが、一方で通訳の希望がなく各事業費において予算残が生じている。また、各課への通訳者派遣コーディネート業務が多岐である。			
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など)		
	○手話通訳予算について予算残を減らす。 ○通訳者派遣コーディネート業務負担を軽減する。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。		
平成30年度予算編成にあたり、各課の手話通訳設置予算を障害福祉課で取りまとめて一本化することで予算減とした。また、通訳者派遣コーディネート業務を、その予算減分を財源として委託し、職員の業務負担を軽減した。			
(3)改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。